

# 陳舜臣さんを語る会通信

NO.97 Jan. 2023

発行 兵庫県明石市北朝霧丘2-8-34  
橋雄三方「陳舜臣さんを語る会」  
Tel.078-911-1671  
編集 「陳舜臣さんを語る会通信」編集委員  
発行日 2023年1月20日  
<http://www.eonet.ne.jp/~yuzo/>

## 円熟三作家による対話集『歴史の交差路にて 日本・中国・朝鮮』

本号では司馬遼太郎・陳舜臣・金達寿の鼎談『歴史の交差路にて 日本・中国・朝鮮』（1984 講談社）を紹介いたします。同著については、本通信No.93でも、簡単に紹介しています。（編集委員 橋雄三）

### 目次

『歴史の交差路にて』

日本・中国・朝鮮

司馬遼太郎・陳舜臣・金達寿

#### I 悠久の歴史のなかで

大国に隣接するつらさ

アジア的秩序の感覚

朝鮮の文字・モンゴルの文字

文字を必要としなかった帝国

中国は「文章」の国

匈奴の武器・漢族の武器

モンゴルのナシヨナリズム

「高麗女に気をつけろ」

「山東大漢」の謎

時代が変れば、美人も変わる

まぼろしの「オランケ」

中華思想と文明主義

朝鮮の文化主義

大家族制と「寄親・寄子」

朝鮮と中国の苗字

文明主義のおおらかさ

中国は文明のるつぼ

#### II 風土と習俗

全羅道は穀倉地帯

東学党の乱の失敗

多様性があつた日本の「藩」

薩摩藩の特殊性

養子相続の効用

骨品制について

（下の段に続く）

弁髪とさかやきの習俗

「客家」とは何か

科挙試験をめぐるつて

武の思想・文の思想

#### III 食の文化を探る

料理はいつ成立したか？

火と料理とやきもの

「備長炭使用の店」

道元禅師と椎茸

所変れば、料理も変わる

味覚のルーツをたどれば

お茶の習慣とニンニク

#### IV 近代への足どり

儒教は「近代化」のさまたげ

社会を固定化する儒教

サービスの悪い社会

サービス精神の源流は茶道

融通無碍のよし悪し

トップにいくほど悪くなる

欧米列強に対する態度

東学と西学

国対国のクールな関係

蘭学から英学へ

変わり身の早い日本人

歴史を相対化する視点

鼎談を終えて

両氏と私ー司馬遼太郎

東アジアの三国ー陳舜臣

本書の来歴についてー金達寿

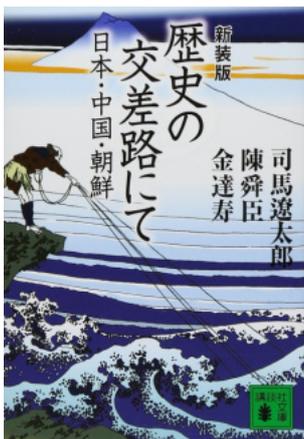
「鼎談を終えて」 両氏と私ー司馬遼太郎 より

傍線は編集委員の加筆

社会は、人間が暮らす箱で、箱である以上はひとびとが暮らしやすくあらねばならない。もともと朝鮮人が使い始めた「在日」という言葉をつかうとすれば、私自身も、日本社会では在日日本人であり、それ以外の規定はすこしもない。ただ私が、この社会で圧倒的に多数民族である日本人の側にいるために感情的には気楽で、一方、かれらは少数者であるために法的・慣習的に損をしている。それもすこしずつよくなってゆくにちがいない。

しかし気楽であるということは、人間が毅然とせねばならない場合、そういう精神を、自分自身の中で育てる上でかならずしも結構とはいえない。一方、少数者は、つねに、その民族の名誉と伝統の代表たらざるをえないという点で、意識が野のあら風にさらされている。むしろ、そのことに耐えられずに自暴自棄になるひとも出てくるし、またそうでないひとたちは、つねにしゃんとしていなければならぬために、背骨をささえる起立筋がときに疲れてくることもあるにちがいない。

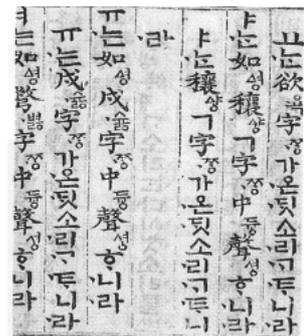
しかし作家である場合、そのことは決して負てはない。その人を作家たらしめている唯一のものー磊塊あるいは氷心ーが、気楽な多数者よりも、より多く精神に含有し、油断がなければ減るこどがないはずだからである。



講談社文庫新装版表紙

# 朝鮮史概略 - 『歴史の交差点にて』理解の一助に-

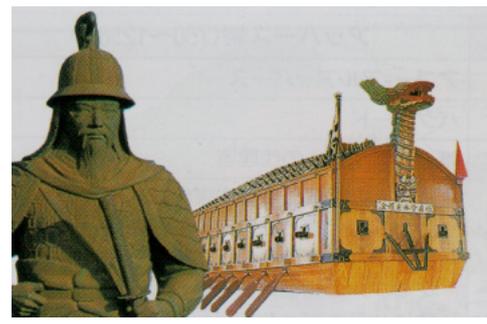
朝鮮史		● 中国が関係	● 日本が関係
前3世紀頃	箕氏(きし)朝鮮成立		
前195頃	衛満、箕氏朝鮮を滅ぼし衛氏朝鮮を建国		
前108	● 衛氏朝鮮、前漢の武帝によって滅亡。前漢4郡(楽浪・玄菟・真番・臨屯)を設置		
前37頃	朱蒙(しゅもう)、半島北部に高句麗(こうくり)を建国		
● 高句麗、漢と盛んに抗争			
後204頃	● 後漢、帯方郡を設置		
半島南部に三韓(馬韓・辰韓・弁韓)成立。三韓時代始まる			
313	● 高句麗、楽浪郡・帯方郡を滅ぼし、半島北部を支配(中国による郡県支配終了)		
4世紀中頃	馬韓の地に百済、辰韓の地に新羅が建国。弁韓の地にも加羅諸国が成立。三国時代始まる		
372	高句麗に仏教伝来		
391	高句麗、広開土王(好太王)即位		
527	新羅、仏教を公認。仏教文化隆盛		
538	● 百済の聖明王、日本に仏教を伝える。552年説も		
562	新羅、加羅諸国を滅ぼす		
611-14	● 高句麗、隋の煬帝に攻撃される		
644-48	● 高句麗、唐の太祖に攻撃される		
660	● 新羅・唐連合軍、百済を滅ぼす		
663	● 新羅・唐連合軍、百済を支援する日本軍を破る(白村江の戦い)		
668	● 新羅・唐連合軍、高句麗を滅ぼす		
676	● 新羅、唐の勢力を追放し、半島を統一		
698	大祚榮、中国東北地方に震国を建国し、朝鮮半島北部を支配(713年渤海と改称→926遼に滅ぼされる)		
9世紀末	新羅、内乱により分裂し、新羅、後百済、後高句麗が分立		
918	王建、高麗建国		
高麗、新羅及び後百済を滅ぼし、半島統一			
● 中国王朝などへ服属(963北宋、994遼、1126金、1259モンゴル)			
1274	● ● 高麗軍、元軍に服属して日本に侵攻(文永の役)		
1281	● ● 高麗軍、元軍に服属して日本に侵攻(弘安の役)		
1380	● 高麗の武将李成桂、倭寇を撃退		
1392	李成桂、高麗を滅ぼし朝鮮を建国		
1446	訓民正音(ハングル)の頒布		
両班制の確立			
1592	● 壬辰・丁酉の倭乱(~98 日本の侵略 文禄・慶長の役)		
1636	● 清に服属		
1643	中国より天主教(キリスト教)が伝来		
1811	洪景来の乱(窮民を指導、専制政治の打破を唱え蜂起)		
1860頃	崔濟愚、儒仏道三教を融合した東学を創始		
1875	● 江華島事件		
1876	● 日朝修好条規(江華条約)		
● ● 親清派・親日派・攘夷派の対立抗争激化			
1882	● ● 壬午軍乱		
1884	● ● 甲申事変		
1885	● ● 天津条約(朝鮮への出兵は日・清互いに事前通告する)		
1894	● ● 甲午農民戦争(東学党の乱)		
● ● 日清戦争 朝鮮半島の一部も戦場となる。(~95 下関条約)			
1897	高宗、国号を大韓と改め、皇帝に即位		
1904	● 日露戦争 朝鮮半島の一部も戦場となる。(~05 ポーツマス条約)		
1909	● 安重根、初代韓国統監伊藤博文を暗殺		
1910	● 日本、韓国を併合		
1919	● 三・一独立運動(万歳事件)		
1937~	● 日本が朝鮮人の皇民化政策(神社参拝、日本語常用、創氏改名、強制連行ほか)を施行		
1945	● 8月14日、日本、ポツダム宣言受諾		
● 9月2日、日本、降伏文書調印			
1948	大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国成立		



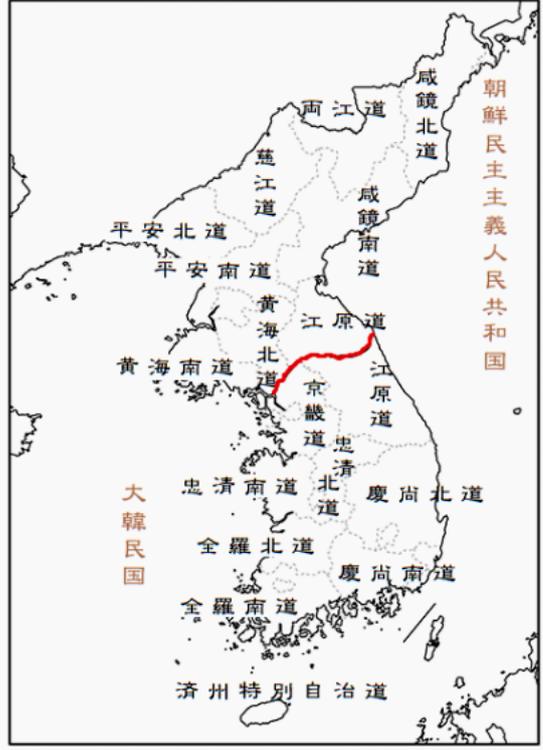
①訓民正音(ハングル)

画像①③は、『図説世界史』(東京書籍)より転載。②は編集委員撮影。年表は、同著を参考に編集委員作成

②承德避暑山莊正門の石刻。右から、満州文字、チベット文字、漢字、ウイグル文字、モンゴル文字



③李舜臣と龜甲船



編集委員作成

## 『歴史の交差点にて』 いくつかの補足

司馬遼太郎は学生時代から能弁。この鼎談の発言量、印象としては、6割は司馬さん、3割が金さんで、残りの1割が陳さん。これは知識量の比ではない。陳舜臣さんは、大阪外国語学校時代を回想して、**福田定一（司馬遼太郎の本名）などは、論客として早くから知られていたのである。「あの男は話術の天才ではないか」と、皆は感心していたものだ。**（『道半ば』p.84-85）と記している。

下の枠内、いくつかの補足です。傍線は編集委員の加筆。

## 編集者の文字起しミス？

陳 順帝の嫁さんが高麗なんですよ。

清朝の最初のヌルハチが満州族の部族統一をするでしょう。それに一番最後までエラホナという部族が抵抗したんです。歴代、エラホナの女は皇后にするな、といわれていたそうです。ところが清末の西太后はエラホナ出なんです。



西太后

清をほろぼしてしまおう。

それと同じことで、モンゴルの場合も、高麗は抵抗が一番激しかったので、高麗の女は宮廷に入れてはいけないというんです。（p.39）

■順帝（一三二〇～一三五〇）  
恵宗ともいう。元朝最後の皇帝。国事をかえりみず酒宴にふけてばかりいたため、国は乱れ、明に滅ぼされたという。

陳さんの発言、エラホナはエラホナの間違いです。漢字では葉赫那拉と書き *ye he nala* と発音します。陳舜臣さんが言い間違えるとは考えられませんが……。

## 朝鮮社会における「族譜」

金 朝鮮では血縁第一ですから。「族譜」というのがありまして、一種の家系図ですが、それがいまだに非常に尊重されている。ぼくも実は今年、韓国に行ったときに、わが家の族譜のありかがやつとわかりまして、来年正式に受け取りに行くつもりですが、受け取るのにもセレモニーが要るんです。おまへは本当に受け取る資格のある者かどうか、審査しなければいけないというわけです。（p.67）

映画『族譜』 ■日本統治時代の朝鮮で幼少期を過ごした梶山季之の同名小説を原作とする一九七九年の韓国映画。画像は [ameblo.jp/jik-next11m/](http://ameblo.jp/jik-next11m/) より。日本統治時代の朝鮮、大地主の一族の長である薛鎮英は、一族の氏を日本式のものに変えること（創氏改名）を拒む。命令に従うよう薛を説得するために、京畿道庁の日本人職員である谷六郎が派遣される。谷は、自分の使命と、朝鮮文化への敬意、そして薛の娘へのほのかな思いとの間で、葛藤する。遂に薛は、役所に向き、「草壁」という日本姓で創氏改名の手続きを済ませる。しかし、屈主である彼の日本名は空欄になっていた。その夜、薛は、古井戸に、石を抱いて投身する。

画像は、映画の一シーン。薛の娘は葬儀の衣裳を着けている。谷は、薛の谷宛の手紙を読んでいる。「…私一代にて、伝統ある薛一族の族譜も無用の長物となりたるは、まことに残念なれど、さりとしてこの資料を焼却するにも忍びがたく候。就きては、……」



## 韓国の世界企業サムスン電子

司馬 姜在彦カシマヤシさんの『朝鮮近代史』を読んでいたなら、よみながら当時の朝鮮を思っただけの思いにかられるのは、ちゃんと近代へのすぐれた芽がいくつも出ているのに、もう芽が出たら摘みとられてしまう。

ただ、逆な面でいうと、いまの朝鮮半島を見てみると、韓国がどうあるうが、あそここの経済を動かしている連中、大きな工場を動かしている連中というのは、やっぱり世界に目がちゃんと届いていて、世界のいわゆるビジネスの、オイルショックでも何にしても、その三年先、四年先を我々は見ないと商売できません、この工場は動きません、製鉄所は動きませんという、そういう世界に通じる目は持っているわけです。だから、これは非常に重要なことだと思っ。（p.215-216）

その典型は、世界企業サムスン電子なんですよ。

サムスン電子の売上げは、韓国GDPの五分の一を占め、資産は韓国国富の三分の一に迫るといいます。一つビックリすることがある。サムスン電子の発行済株式の五・四％を、なんとあの世界平和統一家庭連合が保有しているという。（ウイキペディアより）

■現在の韓国経済は、そのほとんどをサムスングループ、LGグループ、SKグループおよび、分割された現代財閥、解体された大宇財閥の系列企業で占められている。

SAMSUNG

# 『歴史の交差点にて』 いくつかの補足(2)

傍線は編集委員の加筆

サービスの悪さは儒教のせい？

金 司馬さんや陳さんも経験したんじゃないかと思いますが、ぼくは韓国へ行って、飛行機の中でまずシヨックを受けた。ものごとの返答の仕方とか、スチュワーデスのサービスの悪いのにびっくりした。日本でのサービスになれていたら、一種のカルチャー・シヨックですよ。ソウルへ行っても店々のサービスは悪い。司馬 サービス悪いですね。陳 それは、日本が過剰なんや。中国でもずいぶん悪い。

司馬 愛想が悪いどころじゃない。不機嫌そのものという場合もある。あんなに不機嫌を持続できるものかと思う(笑)。  
金 おどろいたですよ。それもみんな儒教です。

陳 サービス業なんかは儒教のモラルからいえばだめなんです。(p. 184-185)

■金さんも陳さんも、サービスの悪さを儒教のせいにしてているが、私は、こういう一刀両断的な文明観には疑義を感じる。  
左の新聞記事は、私(橘)の中国

旅行の見聞記だけれど、銀行、レストランなど中国社会で経験したサービスの悪さを報告しています。それを、中国人の友人、王さんは「社会主義がそうさせています」と言う。

で文化のために中国に寄付したわけです。(p. 205-206)  
神戸には数校の華僑の学校があり、最も大きい「同文学校」は、広東語で教えていた。華僑の学校が統合したくなったのは一年ほどのことである。日本が中国(清)から取りあげた義和団事件の賠償金の一部を中国関係の文化事業費に使うことになり、華僑学校の援助もそれからなされ、その条件が学校の統一と北京語の使用であったという。(『道半ば』p.47)

日米、義和団賠償金の使い方  
司馬 ぼくは、北京図書館へ行ったときに感心したことがあるんですよ。この図書館はアメリカが義和団事件の際に寄付してきたものです。燕京大学とともに寄付したもので、アメリカは義和団事件の賠償金を一切自分の財布に入れずに、そういう形

■燕京大学は、かつてアメリカのキリスト教団が経営した中国の著名な大学。中華人民共和国成立後の52年、工科系は清華大学に、文・理・法科系は北京大学に統合され、正式に廃校となった。

## 社会科教師の見た「華南世情」

>4<

れた。私たちの土瓶に湯を注いでくれる。王さんが彼女と何か話している。「専門学校の卒業研修で来たそうなんです」「非常に愛想がいいです」として表情で、やっと私たちの方へ顔を向けた。

一九九三年の元旦を柳州と高めに両手を振り「新年賀語二十九階の回転レストランで迎えた。このレストランからは、柳江の流れがよく見える。U字型に走行するちょうど先端の所にこのホテルがある。川の向こうには、石灰岩の岩山がよぎよぎ立っている。」「すばらしい眺めですね」「きれいですね」王さんは、胸よりちょっと高くなって、横柄な態度でこの席は駄目だ」と表示されている。

## 少ない笑顔での応対

春節の時に言います「二人で話しているとウエイトレスがやって来て、横柄な態度でこの席は駄目だ」と表示されている。」「この人は不親切です。でも、従業員二人は仕事の手を止め、何かしゃべって、とても仕事の話です」



尊大不遜(そん)になって、しまうのだろうか。(文・写真 白石城西高 教諭 橘雄三)



当時のキャンパス Wikipediaより

神戸新聞

1993年(平成5年)3月30日 火曜日

### 社会主義？